

平治宿・ロケットストーブ持込設置と宿内外の整理

◇実施日：平成26年7月06日(日)；霧雨後小雨

◇参加者：川島 功、沖崎吉信、生熊敏男、生熊千満子、

濱野兼吉、畑林清子。伊藤 純。

藤原 弘記者(毎日新聞・新宮通信部)。計8名。

3月の玉岡相談役の件以後、新宮山彦ぐるーぶ創立40周年記念祝賀会開催と中止の対応に続き、茂原Gr、斉藤鐵工所の新入社員研修、三井寺及び熊野修験接待。又、本年7月世界遺産登録10周年になり、各マスコミ(NHK・毎日新聞・共同通信社)の取材協力等もあって、毎週の行仙宿行と多忙な三ヶ月であった。

7月の予定としては、20〜21日の平治宿内棚設置作業のみの行事計画としたが、皆様いろいろと南奥駈道や小屋等について、こうしたたらどうだろう、ああすべきだななど、いろいろと考えてくれているようで、児嶋さんからは、平治宿用の小型ロケットストーブを作った、耐火レンガと共に平治宿に運んでおいて欲しい。又、自衛隊(静岡県)・伊藤君から電話があつて、7月5日〜6日に新宮に行く、何か手伝うことないかとのこと、彼は当初5日〜6日の40周年記念祝賀会に出席の為、休暇を取っていた様だ。強力に参加で本日ストーブ運び込みを決め、参加者を募り上記8人での行事となった。

朝8時過ぎ、池原スポーツ公園で伊藤君と合流。昨日、行仙宿泊予定も出発が遅くなり、熊野市・道の駅「木の国」で車中泊し駆けつけてくれた。

池郷林道は、相変わらず小さな落石が林道上に散乱しているが、間伐作業者の出入りもあつて路面が以前に比べて良く、予定の9時頃には持経宿に着いた。

生熊さんが準備してくれた薪10束程は薪小屋に収納。小屋内外の点検を済ませ9時30分頃に平治宿へ出発。

千年檜祠で峰中安全と玉岡さんの早期快癒を願って勤行。



生熊さん調達の薪を薪小屋へ

児嶋さん作製の小型ロケットストーブ

一番の大物ストーブは、伊藤君にお願いし、耐火レンガ計33kgは、川島、沖崎、濱野、藤原記者の4人に分けて運び込んだ。

平治宿手前には、千日刈峰行・第1回(S59.6.9〜6.10)の標識が、村吉さん手製して下さり再設置されている地点がある。新宮山彦ぐるーぶが、南奥駈道の復興に本格的に取り組んで、丁度満30年を迎えた記念すべき時節に訪れ本当に感慨深い。

平治宿に10時半前に着き、早速作業開始。全員で小屋内の不用品を小屋前へ集める。特に、梁を利用して保管している板や角材の上には、寝袋やら食器やら相当な量の不用品があつて、これ

も小屋前に。焼却可能な物は、小屋前で焼き、焼けない物は持ち帰る事にする。



持経宿く平治宿の尾根には、ガスがかかり幻想的な雰囲気を感じてきた。



昼食懇談中

千年檜祠で勤行

千日刈峰行・第1回の標識前で

囲炉裏に耐火レンガを積重ねストーブを設置し、試運転するも煙突が少々短い様で煙が小屋内に充満する。煙突を1.5m位伸ばす必要がありそうだ(次回持参)。又、小屋外軒下の道具類保管棚の物は、全て一旦撤去し川島・生熊さんが中間に一段棚を造る。

棚完成後元に戻した。棚が増えた事と不用品を処分したことで大変すっきりした。

小屋内も同じく相当の不用品が無くなり、片付けた後は、これまたスッキリ状態となった。これで20〜21日に、小屋内の棚が出来れば、更にスッキリするだろう。

丁度12時頃作業を終え、昼食を取り、13時平治宿をあとにした。

今日の平治宿行きも、曇り小雨予報であったが、大きな雨にもならず、行きは雨具着用者は少なかったが、帰りは一応着用する。

本行事での寄贈品

生熊敏男；薪10束。

児嶋道夫；ロケットストーブ。

行動タイム

新宮 7:00→8:15 池原スポーツ公園 8:20→9:05 持経宿 9:25→
10:25 平治宿 13:00→13:55 持経宿 14:15→14:55 池原スポーツ公
園 15:05→16:15 新宮。
(記 沖崎)